



薬師寺から数学の世界へ

東京工業大学名誉教授・数学 黒川 信重 氏



薬師寺で育った黒川さんは
日本を代表する
数学者なんだよ!



薬師寺小学校で数の足し算と掛け算を習得したときから私の一生は決まってきた気がします。

東には形の良い筑波山を見て北には日光の男体山を眺めて、数学の世界で過ごして来て古希を迎えました。あつという間でした。

薬師寺小学校の恩師の藤沼浩先生の導きをきっかけに学問の世界にあこがれました。薬師寺小学校から南河内中学校にかけて養心館(藤沼先生は剣道の達人でした)での剣道の練習に通ったことも懐かしいです。

子供の頃は、夏のかんぴょう干しや夕方からの雷雨と稲光を楽しみました。あとで考えましたら、ピカッと光る稲光は、無限に続く素数 2,3,5,7,11,13,17, …へと通ずる新たな道を知らせてくれていたのでしょう。

宇都宮高校から東京工業大学へと遠距離の列車通学・通勤がはじまり、列車の窓から富士山の見事な姿を見ながらの長時間の研究を楽しむことができました。

下野薬師寺の古来からの進取の文化の中で、いつの間にか数十年が経っていました。

うれしいことに、数の宇宙の探求は果てしがなく、今でも研究に明け暮れています。

らいさまNEWS

ニュース 市民活動の拠点施設がオープンしました

令和4年5月16日にまちづくりの拠点として市民活動の支援を行う市民活動センターがオープンしました。建物は以前、生涯学習情報センターとして使用していたものを改修し、新たな施設に生まれ変わりました。会議室と研修室に加えて予約不要で利用できる交流スペースや授乳室も備えています。交流スペースには「らいさま」をはじめ、市内外の情報紙やイベントチラシも置いているので、ぜひお立ち寄りください。

市民活動センター所在地 緑 3-5-1 TEL 0285-32-7290



オープン前日に開催したセレモニーには
らいさま編集委員も参加しました。



編集後記



本紙の編集に携わって八年が経ち九年目に入りますが、今回は学校再編によるコミュニティの変貌に関心を持って見つめてきました。毎回埋もれているかに見える多様な人達の発見をするにつけ、地域のまちづくりに繋がる対象を認識出来たことは嬉しい限りです。総務省の定住自立圏共生ビジョンづくりや厚生労働省の地域包括ケアシステム、国交省のひと・まち・しごと創生会議、文科省の地域学校協働活動やコミュニティスクールなどの政策的行政的な焦点はすべからく地域コミュニティのまちづくりに収斂するものと思われます。ウクライナの戦争も含めて大きな社会転換点に立ち、私たちの日常生活に立ちはだかる課題はとてつもなく多いと思われます。(◎記)

【表紙】 雷電神社